

線形代数学・同演習 B

11 月 15 日分 演習問題*¹

1. (1) $\begin{pmatrix} -1 & -10 & -10 \\ -4 & -23 & -25 \end{pmatrix}$ (2) $\frac{1}{2} \begin{pmatrix} 15 & 0 & -7 \\ 23 & 4 & -11 \end{pmatrix}$
- 2.[†] (1) $\begin{pmatrix} 21 & -8 & 12 \\ 10 & -3 & 6 \\ -25 & 10 & -14 \end{pmatrix}$ (2) $\begin{pmatrix} 2 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$; P を基底ベクトルを並べた行列として, $P^{-1}AP$ を計算.
- 3.[†] (1) 略 ($h(x) = \lambda p(x) + \mu q(x)$ (p, q は多項式) とおいて, $T(h(x)) = \lambda T(p(x)) + \mu T(q(x))$ を満たすことを確認すればよい). (2) $\begin{pmatrix} 4 & 0 & 0 \\ 2 & 1 & 0 \end{pmatrix}$ (3) $\begin{pmatrix} 4 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \end{pmatrix}$
- 4.* (1)(\Rightarrow) V の基底を v_1, \dots, v_n とすれば, T の全射性からある u_j が存在してそれぞれ $T(u_j) = v_j$ となるので $\dim \operatorname{Im} T \geq \dim V$. $\operatorname{Im} T$ は V の部分空間なので $\dim \operatorname{Im} T \leq \dim V$ であるので $\dim \operatorname{Im} T = \dim V$.
 (\Leftarrow) 部分空間の次元が全空間と一致しているならば, その部分空間は全空間と一致する (11 月 1 日の問題 7 (2)) ので, $\operatorname{Im} T = V$.
 (2)(\Rightarrow) 単射性より明らか.
 (\Leftarrow) U の二元 u, u' を任意にとる. このとき $T(u) = T(u')$ とすると, T の線形性より

$$0_V = T(u) - T(u') = T(u - u').$$
 ここで $\ker T = \{0_U\}$ であることより, $u - u' = 0_U$, つまり $u = u'$ であるので, T は単射となる.
 (3) 基底を一つ選び, そのときに現れる列ベクトルを対応させる線形写像により, 同型となる.

・以下は旧課程における大学入試問題です. 講義の記号に合わせて文章を変えています.

- 5.* $\det A = 1$ より (1) $ad - bc = 1$ であり, $\|x_1\| = \|x_2\| = 1$ より

$$(2) a^2 + c^2 = 1, \quad (3) (a^2 + bc)^2 + c^2(a + d)^2 = 1$$

が成り立つ. ここで (3) に式 (1), (2) を代入し, 式を整理すれば $(a + d)(a - d) = 0$ を得る.

(i) $a + d = 0$ のとき. このとき Cayley-Hamilton の定理より $A^2 = -E$ であるので,

$$x_{2k+1} = (-1)^k x_1, \quad x_{2k} = (-1)^k e_1$$

となるため, いずれの場合も $\|x_n\| = 1$.

(ii) $a - d = 0$ のとき. (1) より $a^2 - bc = 1$ であり, これを (2) に代入すれば $c(b + c) = 0$ を得る. $c = 0$ ならば $x_n = {}^t(a^n, 0)$ であり, $\|x_1\| = |a| = 1$ なので $\|x_n\| = |a|^n = 1$. $c \neq 0$ ならば $b + c = 0$ なので, このとき $A = \begin{pmatrix} a & -c \\ c & a \end{pmatrix}$ ($a^2 + c^2 = 1$) という形をしているので, これは回転行列

$$A = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} \quad (0 \leq \theta < 2\pi)$$

である. よって $x_n = A^n e_1 = {}^t(\cos n\theta, \sin n\theta)$ となり, $\|x_n\| = \cos^2 n\theta + \sin^2 n\theta = 1$.

- 6.* (1) $A_n(E - C) = B(E - C^n)$. (2) $A_{3n} = \frac{1 - (-2)^{3n}}{3} \begin{pmatrix} -1 & 0 \\ 0 & 3 \end{pmatrix}$.

*¹ 凡例: 無印は基本問題, † は特に解いてほしい問題, * は応用問題.